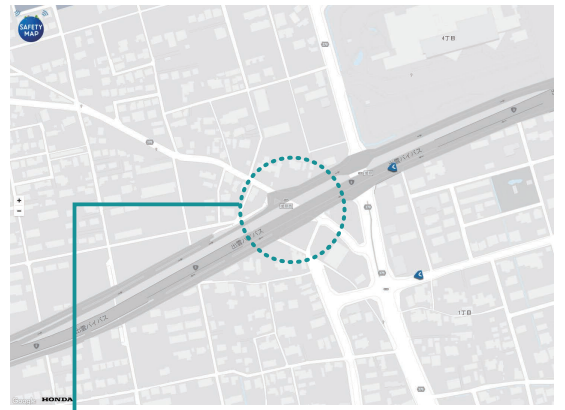


# SAFETY FOCUS

安全な道路環境をめざして- 20 島根県出雲市「姫原西」交差点

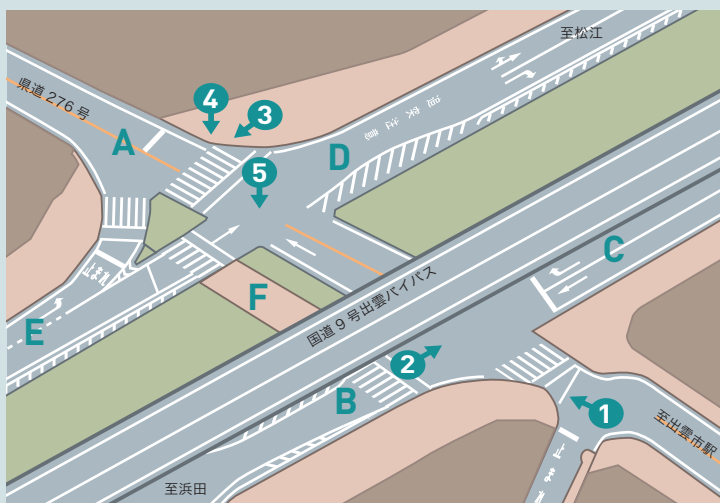
## 右折車のドライバーが歩行者・自転車の存在を認識しにくい交差点

「SAFETY FOCUS」ではHondaが公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する。今回「FOCUS エリア」(下記参照)に取り上げるのは、島根県出雲市にある「姫原西」交差点。島根県警察本部によれば、平成28年中に人身事故が4件発生している。



### 現場をたずねる

FOCUS エリア  
島根県出雲市「姫原西」交差点



今回訪れた「姫原西」交差点はJR出雲市駅から北へ約2kmの場所にあり、国道9号と県道276号が交わっている。交差点の上には出雲バイパスの高架がかかっている。現場を訪れたのは平日朝7時。8時前からクルマの通行量が増えていった。CからBへ直進またはAへ右折するための信号が青の時、EからDへ向かうクルマは赤信号により停止している。これにより、CからAへ右折するクルマの速度は全体的に高いと感じられた。一方、AからBへ右折するクルマは対向する直進車が来るため、それが途切れるのを待ってから右折していた。また、EからAに向かうクルマは横断歩道の手前の停止線で一時停止しなければならないが、確実に停止するクルマは少なかった。交差点の東には島根県立中央病院があり、観察中に救急車の往来が数回見られた。



1 出雲市駅方面から交差点に進入するクルマはAへ直進するか、Bへ左折する。Dへの右折はできない



2 CからAへの右折車。右折する際の速度が全体的に高いと感じられた



3 EからAに向かう時は横断歩道の手前で一時停止しなければならないが、確実に停止するクルマは少なかった



4 交差点の近くには島根県立中央病院があり、救急車の往来があった



5 交差点には国道9号の上り線と下り線を分ける中央分離帯があり、Fを歩行者や自転車が通行する

#### ●この地点で発生した事故件数

四輪車対四輪車	出会い頭	2件
	その他	1件
四輪車対二輪車	右折直進	1件

※平成28年中 島根県警察本部提供

#### 先を急ぐためと思われる信号無視

観察した朝の通勤時間帯、Aから交差点に進入するクルマは信号が黄色や赤になってもBやDに右左折するケースが目立った。また、信号が青に変わってから、すぐに先頭車が発

進しないと後続車はクラクションを鳴らしていた。これは一度信号が赤になると、次に青になるまで1分半近く待たなければならないからと思われる。通勤時間帯は気が急ぐところであるが、ドライバーは信号を遵守しなければいけない。

#### 右後方からの歩行者・自転車に注意

AからBへ右折するドライバーは対向車だけを注意して、歩行者・自転車はいないものと思って右折しているようだった。実際、交差点を通行する歩行者・自転車がまばらなせいもあってか、自分の右後方から渡ろうとしている自転車が迫っていても、その前を横切っていく

クルマを何台も目にした。

交差点内には、出雲バイパスの高架に沿って上り線と下り線を分ける中央分離帯が設置されている。Aから出雲市駅方面に向かう歩行者・自転車は、ここを経由して横断歩道(自転車横断帯)を渡ることになる。中央分離帯のFの位置にはガードレールと植栽が設けられ、この存在がAからBに右折するドライバーにとって、右後方から横断歩道を渡ろうとする歩行者や自転車を見えにくくしているようにも思われた。右折するクルマから中央分離帯を通行する歩行者・自転車の状況をより気づきやすくするための環境整備を期待したい。島根県警察は今後、道路改良に合わせて、さらなる安全対策を検討していく考えだ。



中央分離帯によって、AからBに右折するドライバーは右後方から接近する歩行者・自転車が見えにくいと思われる



「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします！

ホンダ セーフティマップ 検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。